



まちの話題

まちの話題で掲載しきれないイベントや写真は町のFacebookやInstagramで配信中。



松島町 Facebook 公式アカウント



松島町 Instagram 公式アカウント



租税教室を開催しました

6月23日に松島第五小学校、6月30日に松島第二小学校の6年生を対象に租税教室を行いました。

この租税教室は、毎年町内の小・中学生を対象に税金の意義や役割を正しく学ぶことを目的として実施しています。

児童たちは、消費税を参考にした税金の仕組みや役割について町職員からの説明を受け、税金のなくなった世界をテーマとしたアニメーションを観たり、税金クイズに答えたりすることで、税に関する理解を深めていきました。また、本物と同じ重さの1億円レプリカには歓声があり、児童全員が1億円の重さを体験し、お金の大切さ、そして納税の大切さを学んでいました。



勤労青少年ホームにおいて一箱古本市を開催しました

7月2日に勤労青少年ホームの駐車場で初めての「一箱古本市」を開催しました。

一箱古本市とは、それぞれが一箱に魅力ある古本を持ち寄り、交流をしながら古本を販売するフリーマーケットのことで、今回は県内外から8店舗の参加があり、それぞれの店が本に値段をつけて販売しました。難しい参考書や専門書、漫画や絵本などお店ごとのこだわりが詰まったラインナップで買い物に訪れた方との語らいも楽しんでいました。このほか松の葉の片倉施設長所有の松島町に関連する資料の展示コーナーもありました。

今後も古本市は開催する予定です。詳細については広報紙等で随時発信していきますので、ぜひ、ご参加ください。

ゼロカーボンシティ宣言

町では2050年までに「酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ」を令和5年の10月8日の6月議会定例会において宣言しました。

〈ゼロカーボンシティ宣言に至った経緯〉

近年、地球温暖化が進行し、世界各地で記録的な高温や大雨など、気候変動の影響により自然災害が頻発化、激甚化しています。

本町においても、令和元年東日本台風では、総雨量が287mmを超える大雨となり、さらに、令和4年7月15日、16日の大雨では本町ではじめてとなる「記録的短時間大雨情報」が発表され、松島浄化センターの観測データ

において、99.6mmの降雨強度、300mmを超える総雨量を観測するなど、本町においても温暖化による影響を大きく受けていることが推測されます。

こうした気候変動の問題に対応するため、国は2020年10月に「2050年までに、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」ことを宣言しました。

本町は、自然環境や美しい景観、文化遺産などの地域資源に恵まれた豊かな環境を次世代に引き継ぎ、町の将来像である「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち松島」に向けて、取り組んでまいります。



松島町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因と考えられる気候変動の影響によって、豪雨災害や猛暑、大規模火災などが多発し、気候変動の問題は私たちの生活に大きな影響を及ぼしております。

こうした気候変動の問題に国際的に対応するため、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑える努力をする」という目標が掲げられ、この目標の達成に向けて、わが国も2020年10月に「2050年までに、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」ことを宣言しました。

地球温暖化対策は今を生きる私たちの社会的責務であり、これまで以上に環境問題への強い危機意識を持ち、町民や事業者、行政が一体となって住宅の省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入、森林や海洋の保護活動などに取り組む必要があります。

本町は、松島湾に代表される海、里山の緑などの自然環境や自然と歴史が調和した美しい景観、歴史的、学術的に価値の高い文化遺産など、人々を魅了する地域資源に恵まれたまちです。こうした豊かな環境を次世代に引き継ぎ、町の将来像である「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち松島」に向けて、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

令和5年6月8日

松島町長 櫻井公一

エネルギーを節約・転換しよう!

ACTION

- 1 再エネ電気への切り替え
- 2 クールビズ・ウォームビズ
- 3 節電
- 4 節水
- 5 省エネ家電の導入
- 6 宅配サービスできるだけ一回で受け取る
- 7 消費エネルギーの見える化

環境に配慮した住まいを検討しよう!

ACTION

- 8 太陽光パネルの設置
- 9 ZEH（ゼッチ）
- 10 省エネリフォーム窓や壁等の断熱リフォーム
- 11 蓄電池（EV・車載の蓄電池）・蓄エネ給湯機の導入・設置
- 12 暮らしに木を取り入れる
- 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択
- 14 働き方の工夫

家庭ゴミを減らす工夫をしよう!

ACTION

- 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う
- 25 修理や補修をする
- 26 フリマ・シェアリング
- 27 こみの分別処理

食品・食材の無駄をなくそう!

ACTION

- 17 食事を食べ残さない
- 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫
- 19 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- 20 自宅でコンポスト

◇町民の皆さんや事業者と一緒に脱炭素社会の実現に向けて、生活スタイルや購入する製品・サービスを見直すなど、二酸化炭素の排出抑制について一人一人が取り組んでいくことが大切です。

一緒にゼロカーボンの達成にご協力をお願いします。

具体的な取り組み事例としては左のイラストの他、松島町ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

※ゼロカーボンシティとは2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自ら、または地方自治体として公表した地方自治体

※二酸化炭素の排出量実質ゼロとは

- 一酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロとすること

●問合せ 総務課環境防災班 ☎354-57802

出典：環境省ホームページ (https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/lets_coolchoice/logo_download/zc-action30/)